

暑さのピークは越え、朝夕の涼しさにホッとする季節になりました。この時期は天気が不安定になると、雷や大雨などのリスクが高くなります。北海道は天災が少ない方ですが、もしもの時に備えることは大切です。日頃から家族全員で確認しあい、非常時に事故やケガに合わずに行動できるようにしましょう。

防災週間・防災の日



8月30日～9月5日は防災週間、9月1日は防災の日です。もしもの時に備え、お子さんにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか繰り返し話し、確認しておきましょう。

《非常時の持ち出し品の準備》

リュックの中には非常時の持ち物を。

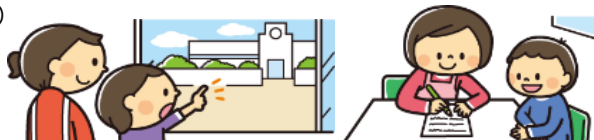
（飲料水・食料品・貴重品・救急用品・ミルク・紙おむつ・

大事にしているぬいぐるみなど。）



《避難する場所》

避難する場所がどこなのか。



《家族がはぐれた場合の連絡方法》

待ち合わせ場所や緊急連絡先。（両親の名前や携帯番号など。）

《地震で倒れやすい物がないか》

倒れそうな物などは固定する。



家の中には事故やケガを招く危険な物がたくさんあります。

- 手の届く場所に置いてはいけない物（薬・たばこ・ライター・洗剤・刃物・針など。）
- 電気のコードやコンセントなど。
- ベランダ、窓からの落下・浴槽・誤飲など



感染症に注意しましょう！

北海道感染症情報センターの発表により
ますと、道内では伝染性紅斑（りんご病）

手足口病の流行が確認されています。また、市内では百日咳や新型コロナが確認されています。どの感染症も基本の予防は、手洗い・手指消毒・咳エチケットです。感染対策をしっかりとこないましょう。